

学校だより

No. 16 令和7年11月11日



とうざん

有田町立有田小学校 校長 山口 英一

有田小 HP の

QR コードは
こちらです。



平和と文化を感じた修学旅行(6年生)

10月30日、秋の爽やかな青空の下、6年生が待ちに待った修学旅行に出発しました。行き先は、今年も長崎市です。1泊2日の短い期間でしたが、子どもたちにとって忘れられない思い出がたくさんできました。

出発の日の朝、まずバスで武雄温泉駅へ向かい、新幹線に乗車しました。発車すると同時に「わー、動いた!」という歓声が上がりました。長崎までの約30分間の車内では、友達と話したり笑い合ったりしながら、にぎやかに過ごしました。



1日目は平和学習です。平和公園で平和集会を行い、黙とうを捧げ、平和宣言を全員で発表して、未来の平和を誓いました。続いて訪れた原爆資料館では、原爆の被害や平和の尊さについて学びました。展示物を真剣な表情で見つめる子どもたちの姿がとても印象的でした。その後、如己堂や山里小学校の平和遺構を見学し、さらに戦争について理解を深め、平和の大切さを考える貴重な時間となりました。



夜は宿泊先で夕食をとった後、4歳のときに被爆された田中重光さんからお話をうかがいました。戦争や原子爆弾の恐ろしさを知り、改めて平和の尊さを感じる時間になりました。田中さんからは、子ども時代の暮らしや家族のこと、戦時中の生活の様子などもお聞きし、戦争についてより身近に考えることができました。

2日目はあいにくの雨模様でしたが、歴史・文化遺構をめぐるフィールドワークに出発しました。班ごとに地図を片手に街を歩き、出島や眼鏡橋などの歴史的建造物を見学しました。友達と小さな発見を共有しながら、楽しそうに活動していました。3つの班がいつの間にかひとつのグループになり、クラス13人全員でまとまって行動する姿には、仲間意識の強さを感じました。



帰りの新幹線やバスでは、少し疲れた様子も見られましたが、友達と楽しかった出来事を話したり、うとうと眠ったりしながら過ごしていました。

今回の修学旅行は、平和や文化について深く学び、フィールドワークを通して多くの発見を得た2日間でした。子どもたち一人一人が学びを深め、友達との絆をさらに強めることができた、すてきな経験になったと思います。この経験をこれからの学校生活でも生かしてくれることを期待しています。

(私自身も、6年生との距離がこれまでより少し近づいたように感じています。)

11月に入り、朝晩の冷え込みに冬の気配を感じる日が多くなりました。先日、「新語・流行語大賞」に「二季」という言葉がノミネートされたというニュースを目にしました。この「二季」とは、地球温暖化などの影響で春夏秋冬という四季が失われ、夏と冬の二つの季節だけのよう感じられる現象を表しているそうです。

さて、全校朝会では「ありがとう（感謝）」をテーマに話をするようにしています。今月は、次のような話をしました。

11月になりました。朝や夜はもう寒いぐらいですね。さて、ここで問題です。「寒い」の反対は何でしょうか？ そ「暑い」です。では、「高い」の反対は？ これも簡単かな。正解は「低い」です。他に「安い」でもいいですね。それでは、「ありがとう」の反対は？ これは少し難しい問題です。正解は「あたり前」です。実は「ありがとう」を漢字で書くと「有り難う」となります。「有る」ことが「難しい」、つまり「滅多にない」「珍しくて貴重だ」という意味です。だから、「有り難う」の反対は「あたり前」ということになります。

みなさんは、どんなときに「ありがとう」と言っていますか？ 何か特別なことをしてもらったときや、助けてもらつたときに「ありがとう」って言う人が多いでしょう。6年生の修学旅行で、バスから降りるときにはほとんどの人が運転手さんに「ありがとうございました」と言っていました。その姿を見たとき、先生は「いいなあ」と感じました。でも、「乗り物にはお金を払って乗っているのだから、自分たちはお客様。だから『ありがとう』なんて言う必要はない」という考え方もあります。どう思いますか？

先生は、「お客様だからしてもらうのがあたり前」というのは、少し違うと思っています。私たちが「あたり前」と思っていることも、実はたくさんの人々に支えられて成り立っています。だからこそ、何かをしてもらったときには「ありがとう」を言いたいと思います。先生は、お店で食事をしてお金を払うときに、「ごちそうさま。ありがとうございます。」と言つうようにしています。 …（後略）…

このあと、『ONE PIECE（ワンピース）』の登場人物たちが、何かをしてもらつたり助けられたりしたときに、どんな言葉をかけるのかをクイズに出しました。作者・尾田栄一郎さんの「ありがとう」へのこだわりについても紹介しました。「あたり前」だと思っていることが、実は「あたり前」ではないことに気づき、そのことに対して素直に「ありがとう」と言える人はかっこいい、ということを子どもたちに伝えました。

ふれあいタイム（花いっぱい運動）

6日(木)の朝のふれあいタイムに、子どもたちが花の苗を植えました。これは、集会・広報・ボランティア委員会による「花いっぱい運動」の取り組みです。

玄関前に集まつた子どもたちは、絵を描いたペットボトルの植木鉢に土を入れ、茎が折れないように気をつけながら、ビオラやパンジーの苗を丁寧に植えていきました。この花は、学校を華やかにするとともに、地域の方々へのプレゼントとしても活用する予定です。

ペットボトルの準備にご協力いただき、ありがとうございました。



安全を守るために ~不審者対応避難訓練~

7日(金)、子どもたちの安全を守るために「不審者対応避難訓練」を実施しました。今回は、校内に不審者が侵入したという想定のもと、子どもたちや教職員がどのように行動すべきかを確認しました。子どもたちは放送をよく聞き、落ち着いて教室から避難することができました。教職員も、不審者への初期対応や通報の流れを実践しました。訓練の後には、駐在所の方から注意点や「イカのおすし」などについて話していただきました。

これまでお願いしてきたところですが、**来校の際は直接教室へ向かわず、まず事務室または職員室へお声かけください**ますようお願いいたします。子どもたちの安全確保のため、ご理解とご協力を願いいたします。

また、**来校されるすべてのご家族にもこのことをお伝えいただきます**よう、重ねてお願いいたします。